

元号・西暦対照表

元号			西暦	年数	改元月日	主なできごと	備考
1	大化	たいか	645～649	5	06.19	大化の改新	
2	白雉	はくち	650～654	5	02.15	白村江の戦	*1
—	(白鳳)	はくほう	672～?	—	—	壬申の乱、白鳳文化	*1
3	朱鳥	しゅちょう	686	1	07.20		*1
4	大宝	たいほう(だいほう)	701～703	3	03.21	大宝律令	
5	慶雲	けいうん	704～707	4	05.10		
6	和銅	わどう	708～714	7	01.11	和同開珎、平城京遷都	
7	靈龜	れいき	715～716	2	09.02		
8	養老	ようろう	717～723	7	11.17	養老律令、『日本書紀』	
9	神亀	じんき	724～728	5	02.04	多賀城落成	
10	天平	てんぴよう	729～748	20	08.05	長屋王の變、墨田永年私財注	
11	天平感宝	てんぴょうかんぼう	749	1	04.14		*1
12	天平勝宝	てんぴょうしょうぼう	749～756	8	07.02	東大寺大仏開眼供養	
13	天平宝字	てんぴょうほうじ	757～764	8	08.18	惠美押勝の乱	
14	天平神護	てんぴょうじんご	765～766	2	01.07		
15	神護景雲	じんごけいうん	767～769	3	08.16		
16	宝龜	ほうき	770～780	11	10.01		
17	天応	てんおう	781	1	01.01		
18	延暦	えんりやく	782～805	24	08.19	平安京遷都	
19	大同	だいてう	806～809	4	05.18	空海、真言宗創始	
20	弘仁	こうにん	810～823	14	09.19	藤原薬子の乱	
21	天長	てんちょう	824～833	10	01.05		
22	承和	じょうわ	834～847	14	01.03	承和の変	
23	嘉祥	かしょう	848～850	3	06.13		
24	仁寿	にんじゅ	851～853	3	04.28		
25	斉衡	さいこう	854～856	3	11.30		
26	天安	てんなん	857～858	2	02.21		
27	貞観	じょうがん(じょうかん)	859～876	18	04.15	藤原良房、摂政に	
28	元慶	げんぎよう	877～884	8	04.16		
29	仁和	にんな	885～888	4	02.21	藤原基経、関白に	
30	寛平	かんびよう	889～897	9	04.27	遣唐使の廃止	
31	昌泰	しょうたい	898～900	3	04.26		
32	延喜	えんぎ	901～922	22	07.15	菅原道真上奏『古今和歌集』	
33	延長	えんちょう	923～930	8	閏04.11		
34	承平	じょうへい	931～937	7	04.26	承平・天慶の乱始まる	
35	天慶	てんぎよう	938～946	9	05.22	乱平定、平将門討たれる	
36	天曆	てんりやく	947～956	10	04.22		
37	天徳	てんとく	957～960	4	10.27		
38	応和	おうわ	961～963	3	02.16		
39	康保	こうほう	964～967	4	07.10		
40	安和	あんな	968～969	2	08.15		
41	天禄	てんろく	970～972	3	03.25		
42	天延	てんえん	973～975	3	12.20		
43	貞元	じょうげん	976～977	2	07.13		
44	天元	てんげん	978～982	5	11.29		
45	永観	えいかん	983～984	2	04.15		
46	寛和	かんわ	985～986	2	04.27		
47	永延	えいえん	987～988	2	04.05		
48	永祚	えいそ	989	1	08.08		
49	正暦	しょうりやく	990～994	5	11.07		
50	長徳	ちょうとく	995～998	4	02.22		
51	長保	ちょうほう	999～1003	5	01.13	宮廷文学の隆盛	
52	寛弘	かんこう	1004～1011	8	07.20		
53	長和	ちょうわ	1012～1016	5	12.25		
54	寛仁	かんにん	1017～1020	4	04.23	藤原道長、太政大臣に	
55	治安	じあん	1021～1023	3	02.02		
56	万寿	まんじゅ	1024～1027	4	07.13		
57	長元	ちょうげん	1028～1036	9	07.25	平忠常の乱、源頼朝が平定	
58	長暦	ちょうりやく	1037～1039	3	04.21		
59	長久	ちょうきゅう	1040～1043	4	11.10		
60	寛徳	かんとく	1044～1045	2	11.24		
61	永承	えいしょう	1046～1052	7	04.14	前九年の役終結、末法慈覺院行	
62	天喜	てんき(てんぎ)	1053～1057	5	01.11		

*1 元号が使われはじめて間もない時代、「白雉」は孝徳天皇、「朱鳥」は天武天皇がそれぞれ崩御したのちに使われなくなり、次の元号の登場までに長い空白期が生じている。「白鳳」は、「白雉」

元号			西暦	年数	改元月日	主なできごと	備考
63	康平	こうへい	1058～1064	7	08.29	前九年の役終わる	
64	治暦	じりやく	1065～1068	4	08.02		
65	延久	えんきゅう	1069～1073	5	04.13	記録荘園奉契所設置	
66	承保	じょうぼう(しょうぼう)	1074～1076	3	08.23		
67	承暦	じょうりやく(しょうりやく)	1077～1080	4	11.17		
68	永保	えいほう(えいほう)	1081～1083	3	02.10	後三年の役起こる	
69	応徳	おうとく	1084～1086	3	02.07	白河上皇、院政を始める	
70	寛治	かんじ	1087～1093	7	04.07		
71	嘉保	かほう	1094～1095	2	12.15		
72	永長	えいちょう	1096	1	12.17		
73	承德	じょうとく(しょうとく)	1097～1098	2	11.21	源義家、昇殿を許される	
74	康和	こうわ	1099～1103	5	08.28		
75	長治	ちょうじ	1104～1105	2	02.10		
76	嘉承	かしょう	1106～1107	2	04.09		
77	天仁	てんにん	1108～1109	2	08.03		
78	天永	てんえい	1110～1112	3	07.13		
79	永久	えいきゅう	1113～1117	5	07.13		
80	元永	げんえい	1118～1119	2	04.03		
81	保安	ほうあん	1120～1123	4	04.01		
82	天治	てんじ	1124～1125	2	04.03		
83	大治	だいち	1126～1130	5	01.22	奥州平泉に中尊寺落成	
84	天承	てんじょう(てんじょう)	1131	1	01.29		
85	長承	ちやうじやう(ちやうじやう)	1132～1134	3	08.11	平忠盛、院の内昇殿を許される	
86	保延	ほうえん	1135～1140	6	04.27		
87	永治	えいじ	1141	1	07.01		
88	康治	こうじ	1142～1143	2	04.28		
89	天養	てんよう	1144	1	02.23		
90	久安	きゅうあん	1145～1150	6	07.22		
91	仁平	にんぺい	1151～1153	3	01.26		
92	久寿	きゅうじゅ	1154～1155	2	10.28		
93	保元	ほうげん	1156～1158	3	04.27	保元の乱	
94	平治	へいじ	1159	1	04.02	平治の乱	
95	永暦	えいりやく	1160	1	01.01	源頼朝、伊豆に流される	
96	応保	おうほう(おうほう)	1161～1162	2	09.04		
97	長寛	ちやうかん	1163～1164	2	03.29		
98	永万	えいまん	1165	1	06.05		
99	仁安	にんあん(にんなん)	1166～1168	3	08.27	平清盛、太政大臣となる	
100	嘉応	かおう	1169～1170	2	04.08		
101	承安	しょうあん	1171～1174	4	04.21		
102	安元	あんげん	1175～1176	2	07.28	法然、浄土宗を創始	
103	治承	じしょう	1177～1180	4	08.04	源頼朝の挙兵	
104	養和	ようわ	1181	1	07.14		
105	寿永	じゅえい	1182～1183	2	05.27	源義仲、平氏を破り入京	
106	元暦	げんりやく	1184	1	04.16		
107	文治	ぶんじ	1185～1189	5	08.14	壇の浦の戦、守護地頭を設置	
108	建久	けんきゅう	1190～1198	9	04.11	源頼朝、征夷大将軍に	
109	正治	しょうじ	1199～1200	2	04.27		
110	建仁	けんにん	1201～1203	3	02.13		
111	元久	げんきゅう	1204～1205	2	02.02	『新古今和歌集』	
112	建永	けんえい	1206	1	04.27		
113	承元	じやうげん(じやうげん)	1207～1210	4	10.25		
114	建暦	けんりやく	1211～1212	2	03.09		
115	建保	けんぼう	1213～1218	6	12.06		
116	承久	じやうきゅう(じやうきゅう)	1219～1221	3	04.12	源実朝暗殺、承久の乱	
117	貞応	じやうおう	1222～1223	2	04.13		
118	元仁	げんにん	1224	1	11.02		
119	嘉祿	かろく	1225～1226	2	04.02	幕府、評定衆を設置	
120	安貞	あんてい	1227～1228	2	12.01		
121	寛喜	かんぎ(かんき)	1229～1231	3	03.05		
122	貞永	じやうえい	1232	1	04.02	貞永式目(御成敗式目)	
123	天福	てんぷく	1233	1	04.15		
124	文暦	ぶんりやく	1234	1	11.05		
125	嘉禎	かてい	1235～1237	3	09.19		

採用後の非公式な年号(私年号)である。一方「天平感宝」は、採用が決まってから3か月足らずで「天平勝宝」に改元され、裏面の*3に記した理由から、なかば幻の元号となってしまった。

元号		西暦	年数	改元月日	主なできごと	備考
126	暦仁	りやくにん	1238	1	11.23	
127	延応	えんおう	1239	1	02.07	
128	仁治	にんじ(にんち)	1240 ~ 1242	3	07.16	
129	寛元	かんげん	1243 ~ 1246	4	02.26	
130	宝治	ほうじ	1247 ~ 1248	2	02.28	
131	建長	けんちよう	1249 ~ 1255	7	03.18	幕府、引付衆を設置
132	康元	こうげん	1256	1	10.05	
133	正嘉	しょうか	1257 ~ 1258	2	03.14	
134	正元	しょうげん	1259	1	03.26	
135	文応	ぶんおう	1260	1	04.13	
136	弘長	こうちよう	1261 ~ 1263	3	02.02	
137	文永	ぶんえい	1264 ~ 1274	11	02.28	文永の役
138	建治	けんじ	1275 ~ 1277	3	04.25	
139	弘安	こうあん	1278 ~ 1287	10	02.29	弘安の役、霜月騒動
140	正応	しょうおう	1288 ~ 1292	5	04.28	
141	永仁	えいにん	1293 ~ 1298	6	08.05	永仁の徳政令
142	正安	しょうあん	1299 ~ 1301	3	04.25	
143	乾元	けんげん	1302	1	11.21	
144	嘉元	かげん	1303 ~ 1305	3	08.05	
145	徳治	とくじ	1306 ~ 1307	2	12.14	
146	延慶	えんきやう	1308 ~ 1310	3	10.09	
147	応長	おうちよう	1311	1	04.28	
148	正和	しょうわ	1312 ~ 1316	5	03.02	
149	文保	ぶんぼう	1317 ~ 1318	2	02.03	文保の御和談
150	元応	げんおう	1319 ~ 1320	2	04.28	
151	元亨	げんこう	1321 ~ 1323	3	02.23	
152	正中	しょうちゆう	1324 ~ 1325	2	12.09	正中の変
153	嘉暦	かりやく	1326 ~ 1328	3	04.26	
154	元徳	げんとく	1329 ~ 1330	2(3)	08.29	
《南朝》南北朝時代、朝廷が北の京と南の吉野に分立、元号も2通りが並存する。						
155	元弘	げんこう	1331 ~ 1333	3	08.09	元弘の変
156	建武	けんむ	1334 ~ 1335	2	01.29	鎌倉幕府滅亡、建武の義政
157	延元	えんげん	1336 ~ 1339	4	02.29	足利尊氏、征夷大将軍に
158	興国	こうこく	1340 ~ 1345	6	04.28	尊氏、天龍寺勅を元に派遣
159	正平	しょうへい	1346 ~ 1369	24	12.08	二条良基『寛政政集』
160	建徳	けんとく	1370 ~ 1371	2	07.24	
161	文中	ぶんちゆう	1372 ~ 1374	3	10.04	
162	天授	てんじゆ	1375 ~ 1380	6	05.27	足利義満「花の御所」に移
163	弘和	こうわ	1381 ~ 1383	3	02.01	
164	元中	げんちゆう	1384 ~ 1392	9	04.28	明徳の乱
《北朝》南朝が「元弘」に改元したのちも、「元徳」をひき続き使用。						
①	正慶	しょうけい(しやうけい)	1332 ~ 1333	2	04.28	
②	暦応	りやくおう	1338 ~ 1341	4	08.28	足利尊氏、征夷大将軍に
③	康永	こうえい	1342 ~ 1344	3	04.27	
④	貞和	じやうわ	1345 ~ 1349	5	10.21	
⑤	観応	かんおう	1350 ~ 1351	2	02.27	
⑥	文和	ぶんわ	1352 ~ 1355	4	09.27	
⑦	延文	えんぶん	1356 ~ 1360	5	03.28	二条良基『寛政政集』
⑧	康安	こうあん	1361	1	03.29	
⑨	貞治	じやうじ	1362 ~ 1367	6	09.23	
⑩	応安	おうあん	1368 ~ 1374	7	02.18	
⑪	永和	えいわ	1375 ~ 1378	4	02.27	足利義満「花の御所」に移
⑫	康暦	こうりやく	1379 ~ 1380	2	03.22	
⑬	永徳	えいとく	1381 ~ 1383	3	02.24	
⑭	至徳	しとく	1384 ~ 1386	3	02.27	
⑮	嘉慶	かけい	1387 ~ 1388	2	08.23	
⑯	康応	こうおう	1389	1	02.09	
	明徳	めいとく	1390 ~	3(4)	03.26	明徳の乱
《南北合一》1392. 閏 10.5. 北朝の「明徳」をひき続き使用、南朝の「元中」を廃止。						
165	明徳	めいとく	~ 1393	1(4)	—	
166	応永	おうえい	1394 ~ 1427	34	07.05	応永の乱、明と聯合貿易
167	正長	しょうちよう	1428	1	04.27	正長の徳政一揆(士一揆)
168	永享	えいきやう	1429 ~ 1440	12	09.05	永享の乱、足利学校再興
169	嘉吉	かきつ	1441 ~ 1443	3	02.17	嘉吉の乱

*2 ひとりの天皇の在位期間中はひとつの元号を継続して用いるという「一世一元の制」は、「明治」から始まった。

*3 当初の元号では、改元日をさかのぼり、改元された年の元日から新元号の年月日に含まれていた。現在のように、改元日より前が旧元号の年月日として扱われるようになったのは、「大正」

元号		西暦	年数	改元月日	主なできごと	備考
170	文安	ぶんあん	1444 ~ 1448	5	02.05	
171	宝徳	ほうとく	1449 ~ 1451	3	07.28	連歌流行
172	享徳	きやうとく	1452 ~ 1454	3	07.25	
173	康正	こうしやう	1455 ~ 1456	2	07.25	
174	長祿	ちやうろく	1457 ~ 1459	3	09.28	
175	寛正	かんしやう	1460 ~ 1465	6	12.21	
176	文正	ぶんしやう	1466	1	02.28	
177	応仁	おうにん	1467 ~ 1468	2	03.05	応仁の乱起こる
178	文明	ぶんめい	1469 ~ 1486	18	04.28	山城の国一揆
179	長享	ちやうきやう	1487 ~ 1488	2	07.02	加賀の一向一揆、慈照寺騒動
180	延徳	えんとく	1489 ~ 1491	3	08.21	
181	明応	めいおう	1492 ~ 1500	9	07.19	
182	文亀	ぶんき	1501 ~ 1503	3	02.29	
183	永正	えいしやう	1504 ~ 1520	17	02.03	三浦の乱
184	大永	だいえい	1521 ~ 1527	7	08.23	華波の乱
185	享祿	きやうろく	1528 ~ 1531	4	08.02	
186	天文	てんぶん	1532 ~ 1554	23	07.29	鉄砲・キリスト教伝来
187	弘治	こうじ	1555 ~ 1557	3	10.23	
188	永祿	えいろく	1558 ~ 1569	12	02.28	桶狭間の戦、信長の台頭
189	元亀	げんき	1570 ~ 1572	3	04.23	
190	天正	てんしやう	1573 ~ 1591	19	07.28	室町幕府滅亡、秀吉の台頭
191	文祿	ぶんろく	1592 ~ 1595	4	12.08	文祿の役
192	慶長	けいちやう	1596 ~ 1614	19	10.27	慶長の役、家康の台頭
193	元和	げんな	1615 ~ 1623	9	07.13	豊臣氏滅亡、武家諸法度
194	寛永	かんえい	1624 ~ 1643	20	02.03	島原の乱、鎖国の完成
195	正保	しょうほう	1644 ~ 1647	4	12.16	
196	慶安	けいあん	1648 ~ 1651	4	02.15	慶安の御難、曲井正雪の乱
197	承応	じやうおう(しやうおう)	1652 ~ 1654	3	09.18	
198	明暦	めいれき	1655 ~ 1657	3	04.13	明暦の大火
199	万治	まんじ	1658 ~ 1660	3	07.23	
200	寛文	かんぶん	1661 ~ 1672	12	04.25	
201	延宝	えんぼう	1673 ~ 1680	8	09.21	越後屋呉服店創業
202	天和	てんな	1681 ~ 1683	3	09.29	
203	貞享	じやうきやう	1684 ~ 1687	4	02.21	最初の生類憐みの令
204	元祿	げんろく	1688 ~ 1703	16	09.03	柳沢吉保老中に、赤穂浪士
205	宝永	ほうえい	1704 ~ 1710	7	03.13	新井白石による正徳の治開始
206	正徳	しょうとく	1711 ~ 1715	5	04.25	『西洋紀聞』
207	享保	きやうほう(きやうほう)	1716 ~ 1735	20	06.22	徳川吉宗による改革
208	元文	げんぶん	1736 ~ 1740	5	04.28	
209	寛保	かんぼう(かんぼう)	1741 ~ 1743	3	02.27	公事方御定書
210	延享	えんきやう	1744 ~ 1747	4	02.21	
211	寛延	かんえん	1748 ~ 1750	3	07.12	
212	宝暦	ほうれき	1751 ~ 1763	13	10.27	宝暦事件
213	明和	めいわ	1764 ~ 1771	8	06.02	天明時代の始り、明和事件
214	安永	あんえい	1772 ~ 1780	9	11.16	『解体新書』
215	天明	てんめい	1781 ~ 1788	8	04.02	天明の大飢饉
216	寛政	かんせい	1789 ~ 1800	12	01.25	松平定信による改革
217	享和	きやうわ	1801 ~ 1803	3	02.05	伊能忠敬、全国の測量開始
218	文化	ぶんか	1804 ~ 1817	14	02.11	化政文化
219	文政	ぶんせい	1818 ~ 1829	12	04.22	外国船打払令
220	天保	てんぼう	1830 ~ 1843	14	12.01	大飢饉、水野忠邦による改革
221	弘化	こうか	1844 ~ 1847	4	12.02	海外からの開国要求激化
222	嘉永	かえい	1848 ~ 1853	6	02.28	ペリー来航
223	安政	あんせい	1854 ~ 1859	6	11.27	日米和親・修好通商条約
224	万延	まんえん	1860	1	03.18	桜田門外の変
225	文久	ぶんきやう	1861 ~ 1863	3	02.19	薩英戦争
226	元治	げんじ	1864	1	02.02	四国連合艦隊、下関砲撃
227	慶応	けいおう	1865 ~ 1867	3	04.07	大政奉還
228	明治	めいじ	1868 ~ 1912	45	09.08	*2
229	大正	たいしやう	1912 ~ 1926	15	07.30	*3
230	昭和	しやうわ	1926 ~ 1989	64	12.25	
231	平成	へいせい	1989 ~ 2019	31	01.08	
232	令和	れいわ	2019 ~	—	05.01	
—	—	—	—	—	—	—

からである。古い制度のほうが、西暦と元号の対応関係は分かりやすい。

*4 元号の平均継続年数は約5年半、最も例の多い継続年数は3年である。12年以上続いた長寿の元号(年数を**赤いゴシック体**で表示)は、28を数える。1400年近い元号の歴史のうち、長寿の例は8世紀前半 ~ 10世紀前半の約200年間と、南北朝時代が終わってからの約600年間に集中している。